

令和6年1月16日
農林水産省大臣官房政策課

こども若者★いけんぷらすについて（所感）

1. 全体

- (1) 農林水産省に関連する団体や企業、農政に興味をもっている方たちだけではなく、農林水産省とは接点が少なく、意見を聞くことが難しかった中・高生（都市部、地方部含む）の意見を聞くことができたのは良かった。
- (2) 若い世代が農林水産業に関心を持っていることを知ることができたのは良かった。

2. テーマなど

- (1) わかりやすい、面白い、話題性に富んでいるなど、ぷらすメンバーたちに興味を持ってもらうための観点から、テーマ、サブテーマ選びは重要。2時間で3つのサブテーマとすると、具体的な設問はそれぞれ2つ程度が適当。
- (2) 事前説明を聞いていないメンバーも一定程度いることから、グループ分けの際などに考慮できれば、より議論が展開しやすいのではないかと。

3. 開催手法

- (1) 対面とオンラインの両方の手法で開催したところ、対面では相手の表情が直接伝わりやすいなど議論が進めやすかったが、オンラインは、顔を出さずに出席することも可能としていたこともあり、対面と比較し、議論が展開しづらい場合があったため、オンライン開催にあたっては、グループ分けを考慮するなどの工夫が必要。
- (2) ファシリテータの方々に議論をうまく先導していただき、メンバーが自由に発言、議論できたのはありがたかった。

4. 成果の公表・発信

- (1) 開催状況等について幅広く知ってもらいたく、プレスリリースもしているが、写真等の視覚的な情報がないことなどから、報道に取り上げられにくく、幅広く知ってもらうためのツールとしての発信方法は課題。
- (2) 取りまとめの方法は、今後、柔軟に対応できるようにした方が、より効果的なツールとして活用しやすくなるのではないかと。